

VM7 ケーブルマネージャ

ソフトウェア名称:	VM7 ケーブルマネージャ
バージョン:	Ver8.6
主な用途:	配線管理、資産管理、データセンター設備管理、ネットワーク運用
システムの特徴:	<p>【特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ CAD 図面上に、実際の配線通りにケーブルデータを入力し、パソコン等の機器類もデータベースを持った CAD シンボルとして、CAD 図面上に正確に置くことで、施工通りの配置データを把握、管理することができます。 ■ 接続情報はポート、ピンレベルまで把握でき、データをより緻密に利用できます。 <p>また、機器の追加、変更の作業を迅速・効率的に行うことができ、データ更新もスムーズにできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 作業手順はそのままレポートされ、作業指示書として現場に渡すことができます。 <p>使用機器、ケーブルのタイプ、容量、数量をはじめ、接続内容の一覧等をリストに出力できます。</p> <p>【活用範囲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 配線管理 ⇒機器をクリックするだけで接続図が表示され、接続図のケーブルをクリックすると CAD 図上でケーブルが点滅し、配線経路を確認できます。 ■ 移転計画支援 ⇒Excel シートや Access データベースで作成された移転機器リストをインポートするだけでフロアレイアウト図面上にコンピュータや電話機などの機器を自動配置できます。 ■ 電話管理 ⇒内線電話増設表、ダイヤルイン番号表、内線番号表などの管理帳票は専用のインターフェース画面より簡単に作成することができます。 ■ IT資産管理 ⇒インベントリ管理項目は250項目まで管理可能です。また各社インベントリ収集システムから自動的にデータのインポートが可能です。 ■ オフィス資産管理 ⇒CAD 使用ならではの詳細な図面管理が可能です。個別の什器備品を管理するとともに、各スペースの面積を自動算出し管理できます。 ■ データセンター管理 ⇒ラック実装、ネットワーク配線、電源、温湿度、資産管理などセンター設備管理に必要な機能を搭載。 <p>オプションの監視システム連携機能により、アラート発生源となっているラック、実装機器、ブレーカーなどの詳細情報を管理者に提供することにより、障害発生時に迅速な対応が可能となります。</p>

備考:	
会社名:	エフ・アイ・ティー・パシフィック株式会社
部署名:	CFM 事業部
担当者名:	佐田 正之
Mail address:	cfm@fitpacific.com
住所:	東京都台東区浅草橋 3-20-15
電話:	03-5820-7021
FAX:	03-5820-7027
URL:	http://www.fitpacific.com
製品 URL:	http://www.fitpacific.com/solution_facility/index.html
発売開始日	1996 年 7 月 (Ver 6.0)
現在のバージョンの 発売時期	Ver8.6 2012 年 8 月
バージョンアップの 予定と内容	これまでの実績として、1年～1年半に1回くらいのペースでバージョンアップを行っている
価 格:	200 万円～
CADソフトの必要性	AUTO CAD
関連ソフトウェア製品	VM7 iDC Visual Manager
導入事例:	<ul style="list-style-type: none"> ◆通信キャリアデータセンター/ラック実装管理、電源、熱計算 ◆金融系データセンター/レイアウト、ラック実装管理、電源、資産管理 ◆国内某銀行/移転支援、配線管理 ◆中央省庁/庁舎内電話、ネットワーク、電源設備 ◆県庁/庁舎内ネットワーク管理、配線管理 ◆放送局/放送設備・配線管理 ◆大手新聞社/本社・支店・支局のインフラ(全国約90拠点) ◆国内某空港/空港内ネットワーク(光ファイバー網) ◆テナントビル/テナント向けの配線管理(貸出管理) ◆テーマパーク、商業施設、ホテル/ネットワーク、電話網、配線管理 ◆某製鉄所/プラント、配管管理 ◆研究施設/ネットワーク、配線管理